（未徴収税額を普通徴収へ切替える場合）

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

年度	1．現年度　2．新年度　3．両年度

昭和町長　殿 令和　◇　年　○月　△日提出	給与支払者（特別徴収義務者）	所在地	〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3
		フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ
		氏名又は名称	株式会社　○×商事
		個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載

特別徴収義務者指定番号	112233	
宛名番号	3456	
担当連絡者	所属	人事課人事労務係
	氏名	特徴　花子
	電話	001-02-0000　内線（ 123 ）

給与所得者			(ア) 特別徴収税額（年税額）	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	ショウワ　タロウ							
氏名	昭和　太朗							
生年月日	平成　○年　○月　○日							
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
受給者番号	123456			6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	令和○ 年 8 月 △ 日	1 右から番号を記入 1 退職 2 転勤 3 休職・長期欠 4 死亡 5 支払額・不定期 6 合併・解散 7 その他 （事由・理由）	3 右から番号を記入 1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）
1月1日現在の住所	昭和町押越△△番地							
異動後の住所			140,000 円	35,600 円	104,400 円			

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

（ア）特別徴収税額（年税額）　140，000円（6月から翌年5月分）

（イ）徴収済額　35，600円（6月から8月分）

（ウ）未徴収税額　104，400円（9月から翌年5月分）

↑

普通徴収税額

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）

特別徴収義務者指定番号	
所在地	〒
フリガナ	
氏名又は名称	

法人番号

新しい勤務先へは、月割額＿＿＿＿＿円を

月分（翌月10日納入期限分）から

収し、納入するよう連絡済みです。

給者番号

書の要否（の場合のみ記載）　右から番号を記入　1．必要　2．不要

2．一括徴収の場合

理由　右から番号を記入

1．異動が　年

2．異動が　年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

月　日　円

左記の一括徴収した税額は、

月分（翌月10日納入期限分）で納入します。

3．普通徴収の場合

理由　1 右から番号を

1．異動が　年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

2．　年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下である

3．死亡による退職であるため

※市町村記入欄

（未徴収税額を一括で徴収する場合）

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

年度	1．現年度　2．新年度　3．両年度

昭和町長　殿 令和　◇　年　○月　△日提出	給与支払者（特別徴収義務者）	所在地	〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	特別徴収義務者指定番号：112233 宛名番号：3456
		フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ	担当連絡者先 所属：人事課人事労務係
		氏名又は名称	株式会社　○×商事	氏名：特徴　花子
		個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	電話：001-02-0000　内線（ 123 ）

給与所得者			(ア) 特別徴収税額（年税額）	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)－(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	ショウワ　タロウ							
氏名	昭和　太朗							
生年月日	平成　○年　○月　○日							
個人番号	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
受給者番号	123456		140,000 円	6 月から 8 月まで 35,600 円	9 月から 5 月まで 104,400 円	令和○ 年 8 月 △ 日	1（右から番号を記入） 1 退職 2 転勤 3 休職・長期欠勤 4 死亡 5 支払額・不定期 6 合併・解散 7 その他 （事由・理由）	2（右から番号を記入） 1．特別徴収継続 2．一括徴収 3．普通徴収（本人納付）
1月1日現在の住所	昭和町押越△△番地							
異動後の住所								

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）	特別徴収義務者指定番号	
	所在地	〒
	フリガナ	
	氏名又は名称	

新しい勤務先へは、月割額＿＿＿＿＿円を

[ ] 月分（翌月10日納入期限分）から

徴収し、納入するよう連絡済みです。

受給者番号：

納入書の要否（新規の場合のみ記載）：[ ]（右から番号を記入）1．必要　2．不要

8月末で退職した給与所得者の徴収方法を、9月分で一括して納入する場合。

（ア）特別徴収税額（年税額）　140，000円（6月から翌年5月分）

（イ）徴収済額　35，600円（6月から8月分）

（ウ）未徴収税額　104，400円（9月から翌年5月分）

↑

一括徴収税額（納入額と同額）

2．一括徴収の場合

理由：[1]（右から番号を記入）

1．異動が　○年12月31日までで、一括徴収の申出があったため

2．異動が　年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため

徴収予定月日	徴収予定額（左記（ウ）と同額）
9 月 20 日	104,400

左記の一括徴収した税額は、

[9] 月分（翌月10日納入期限分）で

納入します。

一括で徴収した税額を納入する月

※1月以降の退職の場合は、原則一括徴収が基本となります。

3．普通徴収の場合

理由：[ ]（右から番号を

1．異動が　年12月31日までで、一括徴収の申出がないため

2．　年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額

3．死亡による退職であるため

（転勤（転職）後の事業所で特別徴収を継続する場合）

給与支払報告
特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

年度	1．現年度　2．新年度　3．両年度

昭和町長　殿 令和　◇　年　○月　△日提出	給与支払者（特別徴収義務者）	所在地	〒012-3456 ○○県××市△△1-2-3	特別徴収義務者指定番号	112233
				宛名番号	3456
		フリガナ	カブシキガイシャ　マルバツショウジ	担当連絡者 所属	人事課人事労務係
		氏名又は名称	株式会社　○×商事	氏名	特徴　花子
		個人番号又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 ←個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記	電話	001-02-0000　内線（　123　）

転居等により異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合には、「個人番号」は、前勤務先では記載しないでください。

給与所得者						異動の事由	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ	ショウワ　タロウ						
氏名	昭和　太朗						
生年月日	平成　○年　○月　○日						
個人番号							
受給者番号	123456		6 月から 8 月まで	9 月から 5 月まで	令和○ 年 8 月 31 日	1 1 退職 2 転勤 3 休職・長欠 4 死 （右から番号を記入）	1 1．特別徴収継続 2．一括徴収
1月1日現在の住所	昭和町押越△△番地						
異動後の住所		140,000 円	35,600 円	104,400 円			

8月末で退職する給与所得者が、9月末から新しい会社で特別徴収する場合。

1．特別徴収継続の場合

新しい勤務先（特別徴収義務者）	特別徴収義務者指定番号	445566 新規	法人番号	3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3
	所在地	〒654-3210 ○○県××市△△1-2-3	連絡先 所属	庶務課人事係
	フリガナ	マルバツフドウサン	氏名	特徴　一郎
	氏名又は名称	○×不動産　株式会社	電話	002-03-0000　内線（　222　）

新規事業所の場合は「新規」に○を付けてください。

新しい勤務先へは、月割額 11,600 円を 9月分（翌月10日納入期限分）から

新しい会社で特別徴収を開始する月（9月）とその月割額を記載します。

納入書の要否（新規の場合のみ記載）　（右から番号を記入）1．必要　2．不要

新規事業所の場合は、納入書の1必要か2不要のどちらか該当する数字を記入してください。

2．一括徴収の場合

理由		徴収予定月日	徴収予定
（右から番号を記入）	1．異動が　年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2．異動が　年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月　日	（上記（ウ）と　限分）で

3．普通徴収の場合

理由		※市町村記入欄
（右から番号を）	1．異動が　年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2．　年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額（ウ）以下である 3．死亡による退職であるため	